

平成26年9月

会員各位

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

第64回日本医学検査学会における一般演題(英語発表)の募集について

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ご承知の通り、第32回IFBLS国際学会(神戸/2016年)が日本で28年ぶりに開催されます。本年の第63回日本医学検査学会でも、初めての試みとして23演題(示説のみ)の英語発表が行われました。第64回日本医学検査学会ではさらに国際化の流れを推進し、より多くの会員が英語での学術発表を行えるよう企画いたしました。つきましては、標題の件を下記の通りといたしますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

謹白

記

1. 募集内容

第64回日本医学検査学会における一般演題の英語発表は、口演・示説(登録時に選択可)の発表方式で募集します。発表は一般演題として扱われ、日本語発表と同一の会場、時間帯となる予定です。口演については発表を英語で行い、質疑は日本語とします。示説は発表・質疑ともに日本語可とします。受付開始日・締切日などは日本語と同一です。

2. 応募方法

①第64回日本医学検査学会の一般演題の応募手続きにのっとり、会員専用サイトから行き、「一般演題」の発表形式が口演(日本語)、口演(英語)、示説(日本語)、示説(英語)の4つから選択できますので、**口演(英語)または示説(英語)のいずれか希望するほうを選んで**演題登録をしてください。

②抄録登録方法で「ファイルアップロード(Web)」を選択し、ダウンロードした「抄録テンプレート」の設定を「文字列を左に揃える」から「両端揃え」に変更して、抄録表示を整えてください。

③英文抄録ボリュームについては、半角文字換算で、52文字×18行×2段となります。単語の文字数、単位などの使用頻度、単語間のブランクにより差がありますが、300単語程度の登録が可能と思われます。抄録本文の行末の単語の切れ目に注意してください。

④JAMTマガジン9月号(「医学検査」に同梱)の「日臨技会員の学会一般演題・抄録の登録について」の記載を参照ください。

3. その他

英語発表者は、学会懇親会に無料招待され、発表者同士の交流の場に参加できます。

以上

本件に関するお問い合わせ先：国際WG事務局 島村・菅野 03-3768-4722